

西相模考古学研究会・兵庫考古学談話会合同シンポジウム

『弥生時代における東西交流の実態—広域的な連動性を問う—』

- 1 日 時 2019 (平成 31) 年 2 月 9 日 (土)・10 日 (日)
 2 会 場 横浜市歴史博物館 講堂 (〒224-0003 神奈川県横浜市都筑区中川中央 1-18-1)
 3 主 催 西相模考古学研究会・兵庫考古学談話会合同シンポジウム実行委員会
 4 開催趣旨

弥生時代の地域間交流に関する研究は、搬入土器の抽出や石器石材、玉、金属製品などの生産と流通をはじめ、集落間構造や墳墓の構造、副葬品などの様相からも検討され、その実態が明らかにされつつある。

しかし、研究者によって分析手法や着眼点に差異が生じることはもとより、交流が地域に与えた影響性や社会変化に対する評価や解釈にも齟齬が生じている。現状では、個々の研究の細密化とは裏腹に、その実態は非常に掴みづらいものとなっている。

本シンポジウムでは原点に立ち返り、地域間交流の様相がうかがえる資料に着目し、各地域の動態を明らかにする。太平洋、日本海、瀬戸内海沿岸、中部高地といったルートに着目し、モノ・ヒト・コトが各地域でどのように受容されていったのか検討することで、地域間交流の実態を詳らかにしていくことを目的とする。

5 プログラム

- (1) 1 日目 (13 : 30 ~ 16 : 25)

2 月 9 日 (土)

- 13 : 30 開会挨拶
 13 : 35 東日本の地域間交流 I — 関東地方 — 杉山和徳
 14 : 15 東日本の地域間交流 II — 太平洋沿岸 — 杉山浩平
 14 : 55 休憩
 15 : 05 東日本の地域間交流 III — 中部高地 — 小山岳夫
 15 : 45 東日本の地域間交流 IV — 日本海沿岸 — 西川修一

- (2) 2 日目 (9 : 00 ~ 15 : 35)

2 月 10 日 (日)

- 9 : 00 西日本の地域間交流 I — 近畿地方 — 禰冨田佳男
 9 : 40 西日本の地域間交流 II — 太平洋沿岸 — 宮里 修
 10 : 20 休憩
 10 : 30 西日本の地域間交流 III — 瀬戸内海沿岸 — 荒田敬介
 11 : 10 西日本の地域間交流 IV — 阿蘇海・若狭湾沿岸 — 村田裕介
 11 : 50 西日本の地域間交流 V — 太平洋沿岸 — 森 貴教
 12 : 30 休憩
 13 : 30 総括討議 (コーディネーター : 立花 実・森岡秀人)
 15 : 30 閉会挨拶

※シンポジウムの参加は申し込み不要・無料 (当日予稿集を販売)

※問い合わせ先 : 西相模考古学研究会・兵庫考古学談話会合同シンポジウム実行委員会事務局

杉山 和徳 (西相模考古学研究会) kazunori_2abk@yahoo.co.jp

荒田 敬介 (兵庫考古学談話会) nice2meetyu@gmail.com